

## XII ピペットディスカッション

高校生以上・2時間30分

～生きていく価値観を探ろう～

グループ内で各自の価値観をぶつけ合い十分に話し合った結果、最終的にグループの合意形成を図るアクティビティです。

### 1 ねらい

グループで話し合って、ある合意が生まれる過程で以下のことに気づいたり学んだりすることがねらいです。

- (1) 自分の物の見方、考え方、人生観、価値観に気づく。
- (2) 自分の考えを変えることの困難さに気づく。
- (3) 自分が他のメンバーに与えている影響に気づく。
- (4) グループの考えをまとめ合意に至ることの難しさ、大切さに気づく。
- (5) グループ内のコミュニケーション、リーダーシップ、協働過程を学ぶ。

### 2 対象及び人数

- (1) 高校生以上
- (2) 1グループ5～8人

※いくつかのグループが同じ場所で同時に実施することができます。

### 3 準備するもの

- (1) 「グループ決定をする際の留意点」 1人1枚+1グループ1枚<P83参照>
- (2) 「コンセンサスゲーム」ふりかえり用紙 1人1枚<P90参照>
- (3) 筆記用具

### 4 時間 2時間30分

- (1) 導入 10分
- (2) 実習 70分
  - ・個人決定 (10分)
  - ・グループ決定 (60分)(休憩) 10分
- (3) 全体発表 20分(グループ数×3～5分程度)
- (4) ふりかえり 30分
- (5) まとめ 10分

### 5 課題

P83 ランキング表の項目を見て、今後生きていく上で最も大切にしていきたいものというテーマで、まず、個人としての順位をつけます。次にグループ内で発表し、グループとしての順位を決定します。最後に討論の様子や順位決定の過程を全体で、発表し合います。

### 6 ルールと留意点

- (1) 順位付けの個人決定の際に、グループの他のメンバーとは相談しない。
- (2) グループ決定の際に多数決や平均値を出すことをしない。
- (3) 自分の考えに固執しすぎて、他に勝つための論争は避ける。
- (4) 安易な妥協をせずに十分に話し合いをして納得することで、グループ決定し順位を付ける。

7 進め方

手 順	留 意 点
<p>＜準 備＞</p> <p>① あらかじめ5～8人のグループに分けておき、各テーブルに座らせておく。</p> <p>② 「コンセンサスによるグループ決定をする際の留意点」(P83)を人数配布しておく。</p>	
<p>(1)導入 (10分)</p> <p>実習名とねらい、課題とルールを説明する。</p>	
<p>(2)実習 (70分)</p> <p>① 個人決定 (10分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・開始を告げ、時間を計る。</li> <li>・10分経過したところで、個人決定を終了するように指示する。</li> </ul> <p>② グループ決定 (60分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・「コンセンサスによるグループ決定をする際の留意点」(P83)を読み上げ、グループの順位の決定を進めるように指示する。</li> <li>・各人が自分の順位を、理由を含めて発表する。</li> <li>・個人発表の際、他のメンバーの順位もそれぞれ記入するように指示する。</li> <li>・50分経過したところで、残り時間(10分)を告げ発表の準備をするように指示する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・選ぶときにそれぞれなぜその順番であるのかをしっかりと考えさせる。</li> <li>・話し声がしたら相談しないことを確認する。</li> <li>・ファシリテーターは各グループを回り、話し合いの様子を見る。</li> <li>・発表方法を工夫させ、全員が発表することを確認する。</li> </ul>
<p>(休憩) (10分)</p> <p>休憩時間の中に発表の準備ができていないグループは準備をするように示唆する。</p>	
<p>(3)全体発表 (20分)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの決定順位を、合意に至るまでの過程も含めて全体に発表する。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ホワイトボード等に氏名をグループ名に変えてランキング表を書いておく。</li> <li>・各グループの発表時間を最初に確認する。</li> <li>・質疑応答の時間を設け、活発な発表会になるようにする。</li> </ul>

<p>(4) ぶりかえり (30分)</p> <p>① ぶりかえり用紙を配布し、まず個人で記入してもらう。 (10分)</p> <p>② 記入した用紙をもとにグループで共有してもらう。(15分)</p> <p>③ 各グループにぶりかえったことについて発表してもらう。 (5分)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・個人記入の際、他の人とは話さなくて記入することを確認する。</li> <li>・ぶりかえり用紙質問項目1～5について順番にグループ内で発表する。</li> <li>・発表の観点は、主に「グループのコンセンサスは取れたか」「自分の意見を変えたとき(変えなかったとき)、グループのどのメンバーの行動や発言に影響を受けたか」についてとする。</li> <li>・発表した内容で特徴的なものをホワイトボード等にメモしておく。</li> </ul>
<p>(5) まとめ (10分)</p> <p>「主張する」「受け入れる」「合意する」という観点で発表で出たぶりかえりをもとに話をする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・グループの発表で出てきてないことがあれば補足する。</li> </ul>

## 8 ぶりかえり

### (1) 個人記入

ぶりかえり用紙に個人で記入してもらう。具体的にはどんなことに気づいたかも記入してもらう。

### (2) グループ共有

ア 司会・記録・発表者を決めてもらう。

イ ぶりかえり用紙の質問項目1～5について順番にグループ内で発表する。

### (3) 発表

主に「グループのコンセンサスは取れたか」「自分の意見を変えたとき(変えなかったとき)、グループのどのメンバーの行動や発言に影響を受けたか」の観点について発表してもらう。

## 9 まとめ

各グループの実習の様子や発表をぶりかえりながらまとめていきます。ファシリテーターは実際にあったことなど実習中の具体例を交えて話すとよいでしょう。

まとめにあたっての観点(例)として次の項目があげられます。

- (1) 他のメンバーに自分の考えを主張することができたか。
- (2) 他のメンバーの考えや価値観を聴き、受け入れることができたか。
- (3) 自分の考えを変えたとき、それは自分が納得した結果であったか。
- (4) グループの決定について、グループの全員が本当に合意しているか。
- (5) 全員が意見を述べあい納得すくで決定に至るコンセンサスによる決定は、相互の理解が深まり、全員が協力して活動や仕事などを進めることが可能になる。
- (6) 状況によっていつでもコンセンサスによる決定がなされるとは限らない。しかし集団の意志決定過程では、そのメンバーに共通理解されていることが大切である。誰がどのように決定したかが曖昧な場合、メンバーの不信感を引き起こし、グループ・集団を弱める方向に作用することがある。
- (7) グループ・集団のリーダーもメンバーも、意志の決定には十分に関与し、いつでも関心を持つ必要がある。

## コンセンサスによるグループ決定をする際の留意点

あなたが決定した内容について、納得できない限り変えないようにしてください。

これから、コンセンサス(全員の合意)によるグループ決定をしますが、一つひとつについてグループの各メンバーが合意して、はじめてグループの決定となります。コンセンサスは容易ではなく、すべての決定について各自の完全な合意を得ることはできないかもしれません。少なくともある程度の合意を得られるように努力して決定に至るようにしてください。

- (1) グループ決定の際に多数決や平均値を出すことをしない。
- (2) 十分に話し合い自分の意見を変える場合は、自分にも他のメンバーにもその理由を明らかにする。
- (3) 自分の考えに固執しすぎて、他のメンバーを負かすような論争は避ける。また人格を無視してその人を傷つけるような発言はしない。
- (4) 少数意見を最初から無視して進めることがないようにする。
- (5) 安易な妥協をせずに十分に話し合いをして納得することで、グループ決定し順位を付ける。

ランキング表(参考に使ってください)

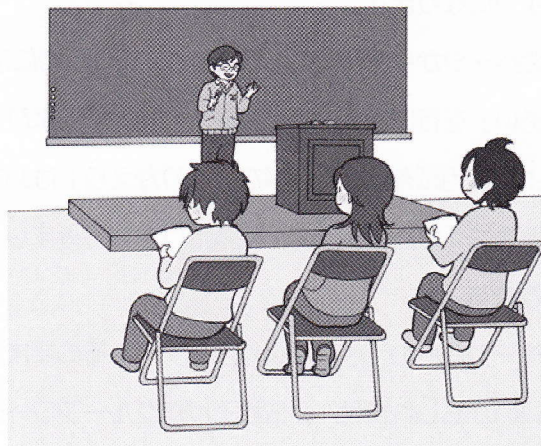
項目 氏名	金	趣味	ボランティア	仕事	自己実現	愛	家族	健康	ポリシー
グループ									

自己実現・・・自己の素質や能力などを発展させ、より完全な自己を実現してゆくこと。  
 ポリシー・・・方針、政策、考え方。

P83のランキング表にある9項目はひとつの例です。取り組む年齢層や目的等に適した項目で実施することが大切です。項目を選択するためには対象が興味を持っているようなテーマを選ぶといいでしょう。例えば以下のテーマと項目を参考に掲載しておきます。ひとつのテーマに10項目以上ありますが、この中から9または10項目を選んで実施してみてください。あるいは、他の項目を自由に設定することもできます。

#### <人生で大切にしたいこと>

健康、家族、貯蓄、住環境、結婚、仕事、食、  
友だち、出会い、愛する人、自由な時間、遊び



#### <自分が住んでみたいところの条件> (大人の場合)

教育環境、公共施設、医療施設、交通の利便性、お店（買い物等の利便性）、  
気候（温暖）、自然環境、子どもの遊び場、大人の遊び場、  
地域の人が互いに支えてくれるところ

#### <学校生活で大切にしていること> (中学生・高校生の場合)

アルバイト(高校生の場合)、友だち、勉強(成績)、恋人(彼女・彼氏)、家族、先生、  
趣味(自分の時間)、進路、部活動、ファッション、ケータイ

#### <学生生活で大切にしたいこと> (大学生の場合)

アルバイト、友だち、勉強(授業)、  
恋人(彼女・彼氏)、家族、先生、趣味、  
就活、成績、自分の時間、部活動・サークル、  
ファッション、ケータイ

